

## 肥育牛への飼料イネ給与

飼料イネは、転作および自給飼料基盤の拡大に有効な作物として、急速に作付面積が増えています。しかし、利用については乳牛への給与試験は多く取り組まれているものの肥育牛への給与事例はほとんど報告がありません。

肉牛研究室では、19ヵ月間の肥育期間で高品質な牛肉を安定的に生産する技術を確立することを目的とした肥育期間短縮試験を開始しました。試験では、前期の粗飼料給与水準にポイントを置き、粗飼料多給区（乾物：35%）と少給区（乾物：20%）を設け、多給区に飼料イネホールクロップサイレージ（飼料イネWCS）の給与を取り入れています。



### < 飼料イネ給与試験の計画 >

**前期** 月齢：8～13ヵ月

|   |   |
|---|---|
| 粗飼料少給区：4頭<br>濃厚飼料 80%<br>稲ワラ 20%<br>給与全飼料の成分<br>DM% | 粗飼料多給区：4頭<br>濃厚飼料 65%<br>稲ワラ 20%<br>飼料イネWCS 15% |
|---|---|



< 開封直後の飼料イネ WCS >

**中期**

|   |      |
|---|------|
| 月齢：14～19ヵ月<br>濃厚飼料<br>(TDN72%、CP12% 原物%)<br>稲ワラ | } 飽食 |
|   |      |

給与全飼料の成分  
(DM%)  
TDN73.5%

血漿中ビタミンA  
濃度の推移を調査

**後期**

|   |      |
|---|------|
| 月齢：20～27ヵ月<br>濃厚飼料<br>(TDN72.3%、CP12% 原物%)<br>稲ワラ | } 飽食 |
|   |      |

ビタミンE添加による肉質向上

供試牛：黒毛和種去勢牛（第7安福の息牛）

3月6日現在、粗飼料多給区の平均は月齢10ヵ月齢、体重296kgです（粗飼料少給区は9ヵ月齢、263kg）。試験に使用している飼料イネWCSは34kg程度のミニロールベールで、水分含量は51～57%くらいです。原物量で濃厚飼料5.5kg、稲ワラ1.5kgに対して飼料イネWCS2.4kgを採食しており嗜好性も良好です。

試験終了は平成15年9月です。

（肉牛研究室 櫻井由美）